

【オンライン】DXリテラシー研修

DXはいわゆるバズワードであり、組織や個人によってもその意味や理解に食い違いが起きています。この研修では、そもそもDXとは何かをしっかりと理解していただき、実現するために不可欠なテクノロジーや、従来のビジネスとは異なる進め方や個人が取り組む上でのマインドやスタンスについて講義とグループディスカッションで理解を深めていただきます。



なお、この研修のカリキュラムは、2022年12月に情報処理推進機構（IPA）が発表した「[デジタルスキル標準](#)（IPAのサイトに接続します）」の内、経営層を含む全てのビジネスパーソンが身につけるべき能力・スキルを取りまとめた「DXリテラシー標準」に準拠しています。

※受講希望の方は、問い合わせ先までご連絡ください。

コース詳細	
研修講座コード	XS410
受講料	¥ 55,000
開催予定	2日間(12時間) 申込により受講できます。
開講時間	9:30～16:30（お昼休み 基本12：00から13：00まで）
前提知識	PCの操作ができる方
対象者	経営者、管理者、リーダー、一般社員
到達目標	・ DXとは何かを理解する ・ DXに必要なデジタル技術を理解する ・ DXを進める方法と留意点を理解する ・ DXに取り組むためのマインドとスタンスを理解する
講師	株式会社エディックス 枝川 峰
備考	こちらのコースはオンライン（Zoom）開催研修です。 オンライン研修の受講方法について ZoomとMural（オンラインホワイトボード）、ブラウザChrome/Edge /Safari動作可能なPCとネットワーク環境をご用意ください。

研修内容

<1日目>

1. DXとは何か？

【ワーク】DXとは何か？今現時点でご自身が考えるDXについて書き出してみる。

- ・DXとは、DXの定義、DXにおける3つのステップ、3つのステップ事例

【ワーク】日常生活で、改めてこれはDXじゃないかと思うものを、付箋に列挙してグループで共有

2. なぜ今DXに取り組まなければならないのか？

- ・デジタルディスラプターとは
- ・事例
- ・世界から見た日本の状況
- ・現状技術進化のスピード
- ・デジタルテクノロジーを利用するメリット

3. ITとデジタルは何が違うのか？

・Information(情報)とData(データ)の違いとは、ITとは、デジタルテクノロジーとは、従来のIT化とデジタル化の違い

4. 2種類のITシステム (SoR、SoE)

- ・ITの変遷、バイモダルIT、それぞれのITスキルで求められるスキル

5. デジタルテクノロジーについて知る

・クラウドコンピューティングとは、IoTとは、ビックデータとは、人工知能(AI)とは、APIとは、デジタルテクノロジーを活用する基本パターン、その他のテクノロジー

【ワーク】テクノロジーをどう組み合わせるかについて、事例からその特徴について考える

<2日目>

6. DXとは何をすることなのか？

- ・DXの定義、攻めのDX、守りのDX

7. DXを進めていくステップ

- ・SaaSを中心にしたツールやサービス

【演習もしくはデモ】ツールやサービスについて実際に触れてみる

- ・ノーコード、ローコードを活用して独自の仕組みを自分たちで作っていく
- ・ITデジタルの専門家を巻き込んでシステムを作っていく

8. DXを推進する上での留意点

- ・セキュリティ、インターネットにおけるモラル、コンプライアンス

9. 従来の取り組みとDXの取り組みの違い

・VUCAワールド、フォアキャスティングとバックキャスティング、PDCAサイクルとOODAループ、ギャップアプローチとポジティブアプローチ、DXの方と2つのアプローチ

10. DX推進に必要な人材とは

・人材像の種類と目指すべき人材像、BTCトライアングル、3つのデザインとデザイン思考、どうやって複数の柱を持てるようになるか

【ワーク】自分自身のこれまでのスキルや経験を踏まえて、どのあたりのスキルを磨く必要があるかを考えてみる

11. 個人や組織をどうやって成長させるか

・学び方の変化、SECIモデル、両利きの経営と人材育成との関係、受動的な学びから能動的な学びへ、能動的な学びに組織がすべきこと

◎オンラインホワイトボードMuralを活用し、ワークを行います。

※最新情報更新などにより多少内容が変更となる場合があります。

お問い合わせ先

(株)北海道ソフトウェア技術開発機構 事業部研修課

営業時間: 平日 9:00~17:00

お問合せ: <https://www.deos.co.jp/contact>

電話: (011) 816-9700